

就労困難者に関する 調査研究

公益財団法人日本財団

調査チーム

慶應義塾大学経済学部教授 駒村康平

成蹊大学経済学部教授 丸山 桂

慶應義塾大学経済学研究科修士課程 益子大和

本研究の目的と推計方法

- 本研究の目的：就労に何らかの課題・障害を抱えて無職、低賃金、不安定な就労環境等の状態になっている人を「就労困難者」と定義し、その人数や実態を把握すること。
- 2つの推計方法
 - ① 集計方式：「国勢調査」、「労働力調査」からの集計結果からの把握
 - ② 積み上げ方式：就労困難となる課題または原因別に推計された人数を積み上げる方法

1. 集計方式による就労困難者の把握

- 総務省「平成27年国勢調査」
- 15～64歳の非労働力人口が「その他」：約232万人で、その内訳は男性142.9万人、女性は89.5万人である。
- 15～64歳の「労働力人口」の「不詳」は約600万人である。

- 総務省統計局「労働力調査」（2018年1～3月期）
- 「未活用労働力」：計398万人

内訳は、仕事を追加したいパートタイム労働者など「追加就労希望就業者」は177万人、短期間で就業可能な「潜在労働力人口」は37万人、失業者数が184万人（図表1参照）。

図表1 未活用労働力の分類（単位：万人）

| | 男女計 | 男 | 女 |
|--------------|-------|------|------|
| 15歳以上人口 | 11077 | 5345 | 5732 |
| 労働力人口 | 6762 | 3781 | 2982 |
| 就業者 | 6578 | 3676 | 2902 |
| うち 追加就労希望就業者 | 177 | 44 | 133 |
| 失業者 | 184 | 105 | 80 |
| うち 完全失業者 | 169 | 100 | 69 |
| うち 非自発的失業者 | 46 | 30 | 16 |
| 非労働力人口 | 4315 | 1564 | 2751 |
| うち 潜在労働力人口 | 37 | 15 | 22 |
| 拡張求職者 | 2 | 1 | 2 |
| 就業可能非就職者 | 35 | 14 | 20 |

積み上げ方式では、就労困難者数は推計1,614万人となる。

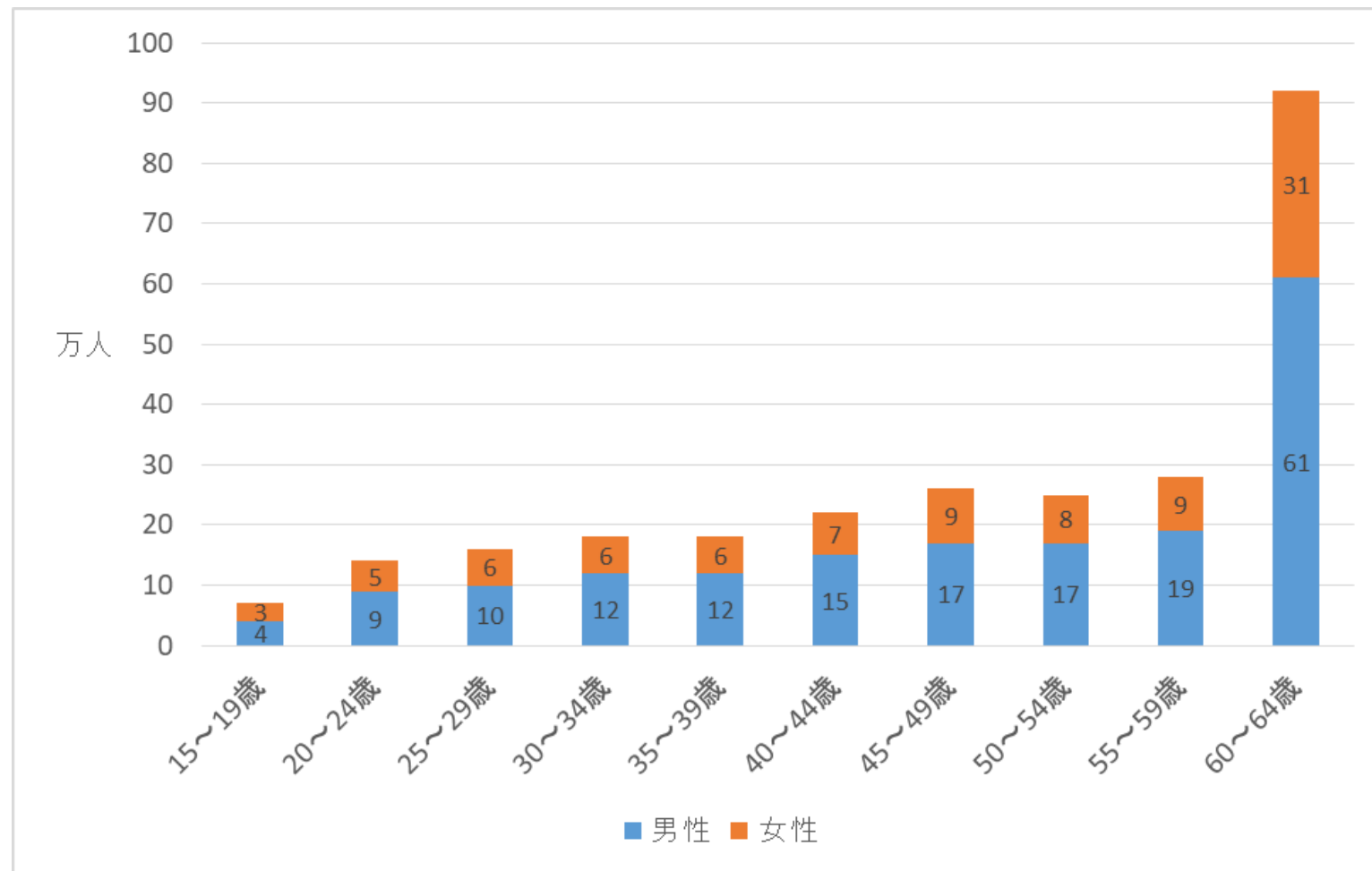
| 就労困難の要因 | 推計人数 (万人) | 調査年 | 就労困難の要因 | 推計人数 (万人) | 調査年 |
|------------------|--------------|------|------------------|--------------|------|
| ニート(15-39歳) | 71 | 2017 | HIV感染者(15~64歳) | 1.7256 | 2016 |
| ニート(40~54歳) | 74 | 2017 | AIDS患者(15~64歳) | 0.5754 | 2016 |
| フリーター(15~34歳) | 152 | 2017 | 高次脳機能障害(18~64歳) | 7 | 2006 |
| フリーター(35~54歳) | 95 | 2017 | 若年性認知症(18~64歳) | 3.8 | 2008 |
| 狭義引きこもり(15~39歳) | 23.6 | 2015 | ギャンブル依存症(15~64歳) | 244 | 2017 |
| ネットカフェ難民(20~59歳) | 0.4401 | 2007 | 薬物依存検挙者(15~64歳) | 1.227 | 2017 |
| ホームレス(64歳以下) | 0.2949 | 2018 | 薬物経験者(15~64歳) | 81.13 | 2013 |
| 難病患者(15~64歳) | 60.146 | 2016 | アルコール依存症(15~64歳) | 66.49 | 2013 |
| 障害者(64歳以下) | 356 | 2018 | LGBT(15~64歳) | 219.6 | 2014 |
| 糖尿病患者(15~64歳) | 106.3 | 2014 | 社会的養護施設退所者 | 0.18 | 2016 |
| がん患者(15~64歳) | 48 | 2014 | 刑余者(20~64歳) | 1.9113 | 2017 |
| 積み上げ式合計 | | | | 1614.42 | |

積み上げ方式では、就労困難者数は推計1,796万人となる (ニート、フリーターの年齢を15～64歳まで延長した場合)

| 就労困難の要因 | 推計人数(万人) | 調査年 | 就労困難の要因 | 推計人数(万人) | 調査年 |
|------------------|----------|------|------------------|-------------|------|
| ニート(15-39歳) | 71 | 2017 | がん患者(15～64歳) | 48 | 2014 |
| ニート(40～54歳) | 74 | 2017 | HIV感染者(15～64歳) | 1.7256 | 2016 |
| ニート(55～64歳) | 121 | 2017 | AIDS患者(15～64歳) | 0.5754 | 2016 |
| フリーター(15～34歳) | 152 | 2017 | 高次脳機能障害(18～64歳) | 7 | 2006 |
| フリーター(35～54歳) | 95 | 2017 | 若年性認知症(18～64歳) | 3.8 | 2008 |
| フリーター(55～64歳) | 61 | 2017 | ギャンブル依存症(15～64歳) | 244 | 2017 |
| 狭義引きこもり(15～39歳) | 23.6 | 2015 | 薬物依存検挙者(15～64歳) | 1.2268009 | 2017 |
| ネットカフェ難民(20～59歳) | 0.4401 | 2007 | 薬物経験者(15～64歳) | 81.13 | 2013 |
| ホームレス(64歳以下) | 0.2949 | 2018 | アルコール依存症(15～64歳) | 66.49 | 2013 |
| 難病患者(15～64歳) | 0 | 2016 | LGBT(15～64歳) | 219.6 | 2014 |
| 障害者(64歳以下) | 356 | 2018 | 社会的養護施設退所者 | 0.18 | 2016 |
| 糖尿病患者(15～64歳) | 106.3 | 2014 | 刑余者(20～64歳) | 1.9113 | 2017 |
| 積み上げ式合計 | | | | 1796.420101 | |

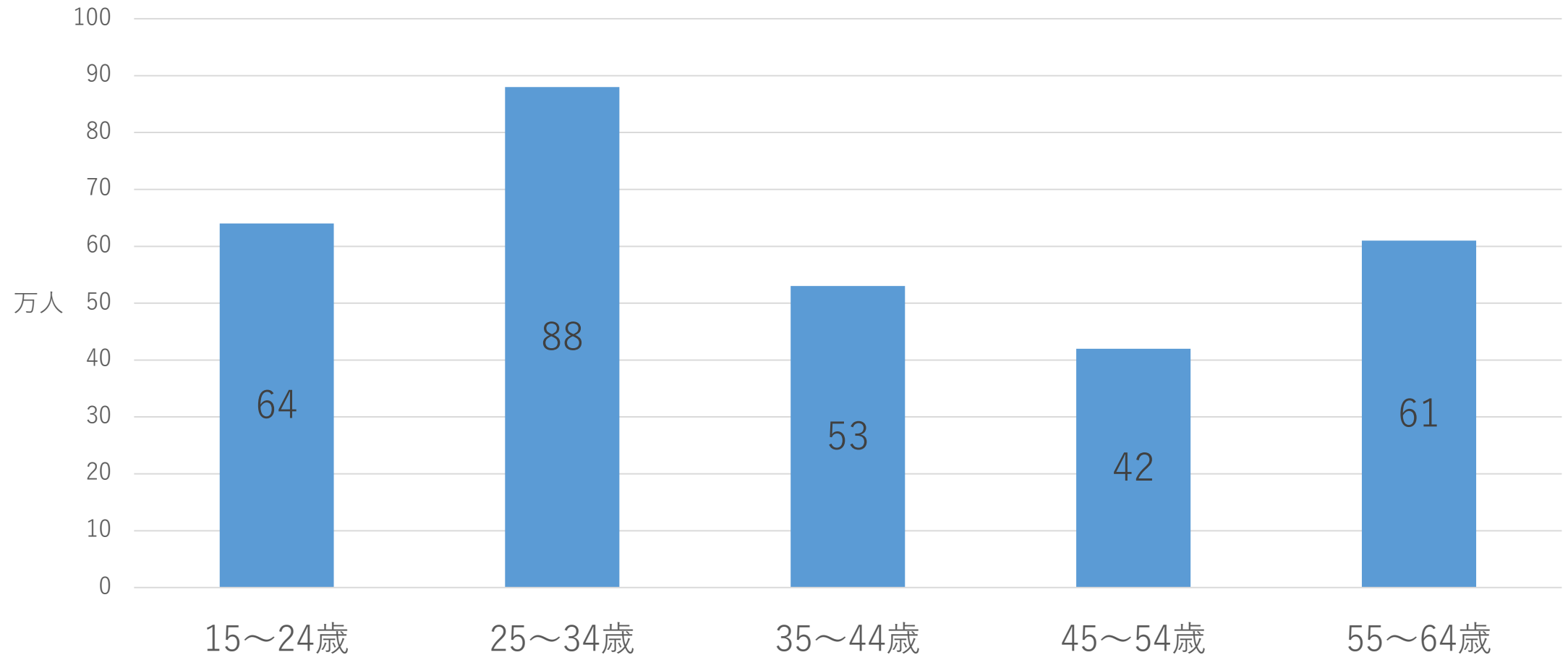
ニート(2017年) 145万人(15~54歳)、 266万人(15~64歳)

- ニート(15~39歳):2017年では約71万人。
- 機械的に計算すると、ニート(40~54歳)は、約74万人。



フリーター(2017年)

・15～34歳:152万人、15～54歳:247万人、15～64歳:308万人



ひきこもり(15～39歳)

- 広義のひきこもり:2015年度54.1 万人
- 狭義のひきこもり:2015年度 23.6 万人
- 準ひきこもり:2015年度 46.0 万人

| | 定義 | 2010年調査 | | 2015年調査A | | 2015年調査B | |
|-------------------------------|----------|----------------------------|--------------------|----------------------------|--------------------|----------------------------|--------------------|
| | | 有効回収 数に占め る割合 (%) | 全国の推 計数 (万人) | 有効回収 数に占め る割合 (%) | 全国の推 計数 (万人) | 有効回収 数に占め る割合 (%) | 全国の推 計数 (万人) |
| ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける | 狭義のひきこもり | 0.4 | 15.3 | 0.35 | 12.1 | 0.35 | 12.1 |
| 自室からは出るが、家からは出ない | | 0.09 | 3.5 | 0.16 | 5.5 | 0.16 | 5.5 |
| 自室からほとんど出ない | | 0.12 | 4.7 | | | | |
| ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する | 準ひきこもり | 1.19 | 46.0 | 1.06 | 36.5 | 1.12 | 38.7 |
| 計 | | 1.79 | 69.6 | 1.57 | 54.1 | 1.63 | 56.3 |

ネットカフェ難民、ホームレス

- ネットカフェ難民：2007年で約5,400人と推計。
- ホームレス（64歳以下）：2018年で2,949人と推計。

難病患者、非就労障害者、糖尿病患者 がん患者、HIV感染者、AIDS患者

- 指定難病受給者証所持者数(15～64歳):約60.15万人(2016年)
- 非就労障害者(17歳あるいは19歳から65歳未満のうち就労していない者):約356万人
- 糖尿病患者(15～64歳):106.3万人(2014年)
- がん患者(15～64歳):約48万人(2014年)
- HIV感染者(15～64歳):1.7256万人(2016年度)
- AIDS患者(15～64歳):5,754人(2016年度)

高次脳機能障害、若年認知症

- 高次脳機能障害該当者（18歳以上65歳未満）：
約7万人（2006年度）。
- 若年認知症患者（18歳以上65歳未満）：37,800
人（2008年）

ギャンブル依存症、薬物依存症、アルコール依存症

- ギャンブル依存症：2017年度推計で約244万人（年齢合計400万人）
- 薬物依存検挙者（15～64歳）：1.227万人（2017年）
- 薬物依存症：2013年度推計で薬物使用の生涯経験率。大麻133万人、有機溶剤104万人、覚醒剤50万人、コカイン30万人、危険ドラッグ22万人
- アルコール依存症：2013年度推計で、生涯経験者は約109万人。
- （患者調査から推計されるアルコール使用による精神及び行動の障害で通院・入院している人は、約60万人）

LGBT、児童養護施設退所者、刑余者

- LGBT:2015年の推計で360－600万人程度
- 児童養護施設退所者:2015年度の退所者1,818人のうち就職は1,280人。里親委託児は269人で、うち就職は116人であった。
- 刑余者:2016年の出所者数は満期釈放が9,159人、仮釈放(一部猶予なし)が12,477人、実刑期終了(一部猶予)79人、仮釈放(一部猶予あり)283人、その他27人、計22,025人である。うち20～64歳は19,113人であった。